

過去に北大病院循環器内科に心不全治療のため入院し 治療を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院 循環病態内科学では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られる診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関して、研究の対象となることを望まれない場合やご不明の点がございましたら、下記「連絡先」へご連絡ください。

[研究課題名] 房室弁開放時相の視覚的評価に基づく左心不全血行動態評価法に関する検討

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 岩野 弘幸（大学院循環病態内科学・助教）

[研究の目的]

心疾患による死亡は日本の年間総死亡の約15%に当たる20万人にもおよび、心不全による死亡や身体障害は、社会の高齢化とともに、今後、ますます増えることが予想されています。心不全の程度や治療効果の判定は、心内圧測定により行われますが、体に管を入れることなく非侵襲的に評価する方法として心臓超音波検査（心エコー検査）があります。しかし、未だに精度が高く簡便で、幅広い心疾患の患者さんに対して使用できる心不全の評価法は確立されておらず、新たな指標の構築が試みられています。そこで、私たちは、心臓の弁膜の動きに注目し、いろいろな心疾患の患者さんの心不全の程度を視覚的に評価する方法を考案しました。この方法が心内圧を精度よく推定できれば、心不全診療の質の向上につながります。

[研究の方法]

●対象となる方

2013年1月から2017年12月までに北大病院循環器内科に入院し、心不全の治療が行われた患者さん。

●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、家族歴、身体所見、血液生化学的検査結果、血漿中の脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）濃度、N 末端プロ B 型ナトリウム利尿ペプチド（NT-proBNP）、臨床経過を調査させていただきます。
2. 治療前と治療後（退院前）の心エコー検査記録から、一般的心エコー指標に関する情報を調査させていただきます。また、治療前後で心臓の弁に動きの違いを調査させていただきます。また、心カテーテル検査記録を用いた調査を行います。

[研究実施期間] 病院長による実施許可日～2020年3月1日

[個人情報の取り扱い]

本研究の実施にあたり、研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所をはじめ、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で管理し、研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院 循環病態内科学 助教 岩野 弘幸（研究責任者）

電話：011-706-6973, FAX：011-706-7874